

科目名	企業実習	科目コード	11550
-----	------	-------	-------

学科名・学年	機械工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	本間 晃，山田 隆一（機械工学科）
単位数・区分	1単位・選択
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：実習30】
教科書	なし
補助教材	本校学生課作成の「企業実習の手引き」，実習先企業が提供する資料
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

企業において生産と技術の具体的な体験を積むことによって、実践的な技術感覚を体得すること、および技術者として必要な人間性の形成を図ることを目的とする。

関連する科目：機械工学実験実習

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(F)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
職業意識を身につける。	30%	F2
企業活動の実際を理解する。	30%	F1
技術者としての人間性を養成する。	40%	A2

【C．履修上の注意】

実際の企業で就業体験を積むことは、諸君らの将来を考えるためにより刺激となるので、積極的に取り組んでほしい。学校とはまったく違う組織であることを常に認識し、責任ある行動を心がけてほしい。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

報告書（100%）【内訳：企業の実習責任者から提出される実習証明書 60，実習生が実習終了後提出する実習報告書 40】

【E. 授業計画・内容】

前期

週	内容	備考
	<p>夏期休暇中に企業で実習を行う。希望学生は実習指導教員である学科長とクラス担任とに相談し、実習先を決定する。</p> <p>(1) 実習期間：夏期休暇中1週間程度</p> <p>(2) 実施経費：学生負担</p> <p>(3) 傷害保険：加入(学生負担)</p> <p>(4) 事前指導：実習生は実習指導教員よりあらかじめ事前指導を受ける。</p> <p>(5) 実習先での注意：実習生は企業の実習責任者の指示に必ず従うこと。</p> <p>(6) 実習報告書：実習生は実習終了後速やかに所定様式の報告書を作成し、実施責任者に提出する。</p>	